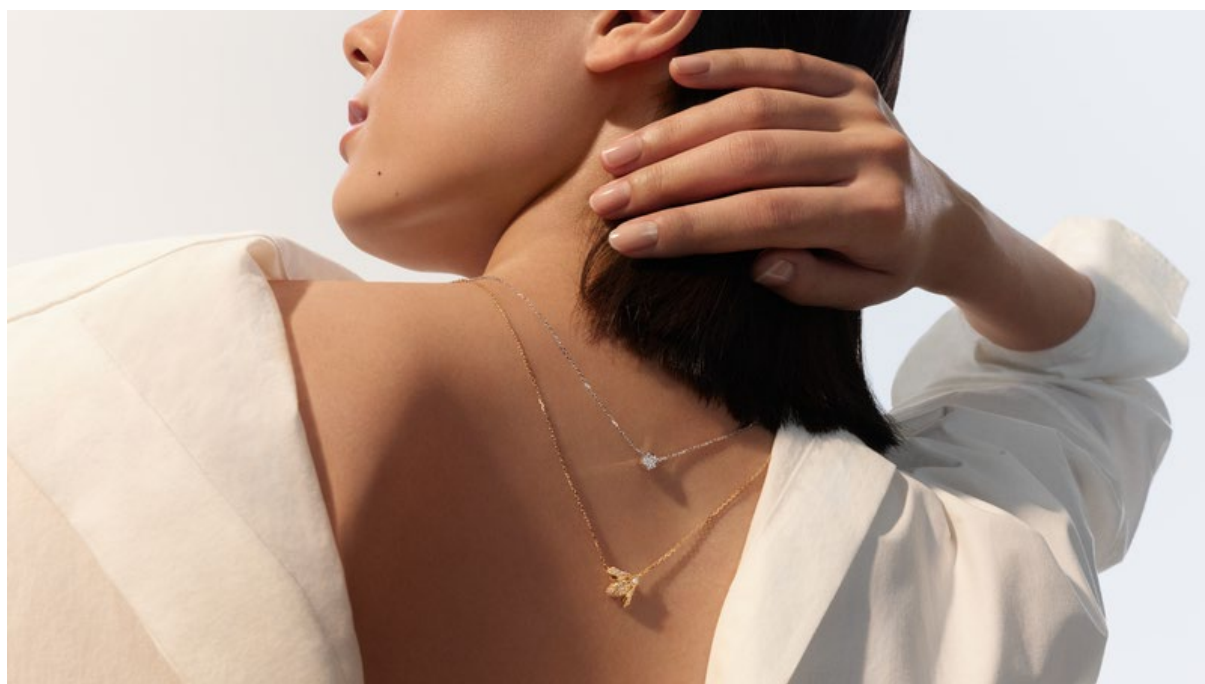


2024 年 年次



報告書



内容：

1. 会社概要
2. コミットメント
 - A. 人権
 - B. 調達
 - C. 倫理
 - D. コンプライアンス
 - E. 文化
3. 持続可能な開発目標（SDGS）
4. 用語解説

1.会社概要

ショーメは、ヴァンドーム広場の中心で、独自のノウハウを反映し、パリならではのスタイルを体現する他に類を見ないジュエリーを生み出しています。エレガントで大胆なメゾンのタイムレスなスタイルは、世界のさまざまな影響を受けながら、伝統とモダニティを融合させ、時代とともに進化し続けています。ハイジュエリーのアトリエでは、職人たちがその専門技術を駆使して、シグネチャーのティアラを初めとする軽やかで生き生きとした芸術作品の数々を生み出しています。その独自の技能は、240年以上もの間、絶え間なく改良が続けられています。ジュエリーやウォッチは、主にフランス、イタリア、スイスにある外部のサプライヤーのネットワークを通じて製造されています。

ショーメは、LVMH モエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトングループ（以下、「LVMH」）の傘下にあるブランドです。ショーメ・インターナショナル（CHAUMET INTERNATIONAL S.A.）は、以下の子会社で構成されます。CHAUMET KOREA LLC, CHAUMET LONDON LIMITED, CHAUMET AUSTRALIA PTY LTD, CHAUMET IBERIA SLU、CHAUMET MIDDLE EAST FZCO、CHAUMET HORLOGERIE SA (Switzerland)、CHAUMET MONACO SAM、CHAUMET EAU TRADING LLC、CHAUMET KUWAIT WLL、CHAUMET ARABIA LTD。これらを以下、CISA グループと称します。CISA グループは、ヨーロッパ、日本、アジア太平洋、中東、中国の5つの主な市場で事業を展開し、2024年末の時点でその店舗数は92を数えます。

2.コミットメント

A. 人権

人権の尊重は、CISA グループの掲げるビジョンと価値観の本質を成すものです。CISA グループは、「国連ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、国際人権章典および国際労働機関（ILO）の「労働における基本原則と権利に関する宣言」で規定されている国際的に認められた人権を尊重することを約束します。CISA グループは、OECD ガイドラインも尊重しています。CISA グループはまた、市民的および政治的権利に関する国際規約「経済的、社会的、文化的権利に関する国際規約」を遵守することも約束します。

人権を尊重する責任は、すべての社員、パートナー、サプライヤー、請負業者、およびCISA グループの事業、製品、サービスに直接関わるその他の当事者にとって、基本的な期待事項とみなされます。

CISA グループのコミットメントの概要は、ショーメのウェブサイト上で公開されている人権ポリシーに掲載されています。

LVMH グループはまた、才能とスキルの開発（戦略的専門知識の保持、伝統的工芸技術の継承）、差別の防止と個性・多様性・インクルージョン（包括性）の尊重、職場環境の継続的改善（労働条件の改善、フレキシビリティおよびワーク・ライフ・バランスのサポート）、適正賃金の保証、地域社会のサポートなどの観点から、コミットメントや行動を分析し、グループ外部からの審査対象となっている年次CSR 報告書を作成しています。この報告書の作成にあたり、ショーメはLVMH グループにこうした課題に関する年間のCSR 情報を提供しています。

レスポンシブル・ジュエリー・カウンシル（RJC）のガイダンスに沿って、ショーメの人権リスクの分析が、非差別やハラスメントに焦点を当てて実施されました。アクションプランの導入を必要とするようなリスクは特定されませんでした。こうしたリスクは年次ベースで確認し、必要があれば補正を行う必要があります。

B. 調達

CISA グループは、特に原料の調達に関して、事業が社会に与える影響を意識しています。こうした理由から、ショーメは人権を尊重しながら事業を倫理的な方法で展開するよう、責任ある調達方針（ショーメ公式ウェブサイトに掲載）を設定しています。

CISA グループは、サプライヤーに対し、LVMH サプライヤー行動規範（オンラインで閲覧可）に含まれる倫理原則の遵守だけではなく、サプライヤーの独自のサプライヤーや下請け業者にもこれらの規範の尊重を求めています。サプライヤー行動規範の遵守は、契約条件の一部となっています。この行動規範では、児童労働の禁止、強制・不法労働の禁止、差別・ハラスメントの禁止など基本的な人権を保証します。報酬、労働時間、結社の自由、地域社会の保護などに関する受容可能な条件も明記しています。さらに、ショーメの事業における環境コンプライアンスとパフォーマンスの詳細も記載しています。最後にこの行動規範では、企業の倫理と高潔に対する条件（汚職撲滅、マネーロンダリング、テロに対する資金調達、贈答や招待、利害の衝突、公正な競争）も規定しています。

CISA グループは 2005 年よりレスポンシブル・ジュエリー・カウンシル（RJC）に加盟し、その認証を受けています。この組織は、ジュエリー業界で責任ある事業展開を推進しています。この認証システムでは、人権がサプライチェーンのどの段階でも守られるよう、企業の倫理・社会・環境的な慣行に関する監査が義務付けられています。その中でもジュエリー製品の製造に対しては特に注意しています。私たちは、キンバリープロセスを提携した国の信頼できるサプライヤーと取引を行い、責任ある方法でジュエリー製造を行うことを約束します。キンバリープロセスとは、複数の政府、産業、市民社会が参加し、紛争ダイヤモンドが国際的な認証システムに流通するのを防ぐことを目的としたイニシアチブです。

CISA グループは、紛争地やリスクの高い地域で生産される鉱物の責任あるサプライチェーンを確立させるために、OECD の 5 段階のデューディリジェンスプロセスを実施することを約束しています。

その注意義務の一環として、CISA グループは、リスクアセスメント管理システムを導入しています。またショーメの調達の慣行に関連して生じる悪影響を防ぐ、または低減させることを目的とした、LVMH グループの苦情管理組織の恩恵を受けています。

リスクアセスメント

ショーメは、LVMH の協力のもと、RJC のガイドラインに基づき、自社が被るリスクのアセスメントとモニタリングを行っています。リスクマッピングには、社会・環境問題、マネーロンダリング、汚職、そしてより一般的には、サプライチェーン全体におけるすべての人権問題が含まれます。このリスクアセスメントを実施するために、プロセスが以下のように複数の段階に分けられています。

- 内部モニタリング部門は、**年次リスクマッピング**を作成し、こうしたリスクの可能性と影響を軽減するための対策を用意しています。この分析が、内部モニタリング部門が行うすべての業務のベースとなり、同部門は常に改善に努める中で、こうしたアクションプランを実施することの合理的保証を提供するよう取り組んでいます。これにより、有形、無形の企業資産保護を効率的に管理し、適用される法律や規則に基づいて会計、財務、社会情報の信頼性を確実なものとするのが可能になります。この目的を達成するために、内部モニタリング部門は、執行委員会全員および関連するとみなされるその他のステークホルダーとの話し合いを定期的に（少なくとも年 1 回）行い、既存リスクのアセスメントをやり直しています。2023 年より、執行委員会は、監査・リスク部門とともに、ショーメの製造チェーンに及ぼす気候の影響と具体的に関連する新たな主要 CSR リスクを特定しています。

さらに、RJC によって認証が更新されないという既存のリスクについては、LVMH グループに送付される確認書の中に専用の項目が設けられています。

このリスクの可能性と影響を軽減するため、メゾンは複数の方針と手順を整えました。このリスクに対処するためのすべてを網羅したアクションプランが、少なくとも年 1 回、倫理・コンプライアンス委員会の会合で発表されます。また、2023 年 1 月には LVMH グループの内部監査が実施され、メゾンが、特に汚職に関する問題において、サパン II 法を遵守していることが確認されています。内部監査の結果、メゾンの成熟度は「適切」と判断されました。

2024 年にはこの監査のフォローアップが実施され、すべてのアクションプランが実施されました。

- すべてのサプライヤーに対し、デューディリジェンスのマネジメント、OECD の原則に沿ったリスクアセスメント、取得済みの認証、国連の「人権に関する指導原則」の遵守などに関する自己評価アンケートが送付されます。さらに、上記に記載のように、すべてのサプライヤーには LVMH サプライヤー行動規範への署名が義務付けられています。2024 年の初めから、書類はすべて「Aprovall」と呼ばれる専用プラットフォームで提出をしなければなりません。

この目的を達成するために、ショーメは、サプライチェーンのリスクアセスメントを実施し、特定されたリスクレベルに応じたアクションプランを用意しています。アンケートに対するサプライヤーの回答およびサプライヤーの活動や認証（RJC 等）レベルに関して収集された情報に基づき、ショーメは潜在的なリスクに関するすべてを網羅した報告書を作成しています。2024 年、ショーメは 8 つのサプライヤーの社会監査を実施しました。2024 年末、す

に開始されていた監査に関する活動に加え、二次サプライヤーでのリスクが検出されました。社会監査を含むアクションプランが導入されました。このアクションプランは2025年前半に展開される予定です。2024年、LVMHグループは、サプライヤーおよびビジネスパートナーの行動規範の新しいバージョンを発表しました。この行動規範には遵守条項が含まれており、ショーメは、この規範に定められたすべての原則に基づき、サプライヤーを監視する権利を有しています。

サプライヤーは、特定されたコンプライアンス違反を改善または是正するための措置を講じなければなりません。その結果、ショーメは、紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのための OECD デューディリジェンス・ガイダンスに沿って、自社のサプライチェーン全体でデューディリジェンスのプロセスを実施することにより、ゴールド、ダイヤモンド、カラーストーンの調達に特に注意を払いながら、社内の手順とプロセスの強化に取り組んでいます。

C. 倫理

ショーメの **KYC (Know Your Counterpart)** ポリシーは、事業慣行や取引においてマネーロンダリングやテロの資金調達を防止するというショーメのコミットメントを確認するものです。この目的を達成するために、私たちはマネーロンダリング、およびテロの資金調達に対抗するため、KYC の具体的な手順を設定しました。ショーメ・インターナショナルは、対話や透明性の文化を推進するとともに、通常のウォーターフォール マネジメント方式に加え、LVMH アラートラインを介した内部通報制度も採用しています。このシステムにより、LVMH 行動規範、内部ガイドライン、原則、ポリシー、適用できる法律や規則に対して知識を持つ社員や外部関係者は、内部ガイドラインや手続き、倫理的な原則や適用される法律や規則に対する、行われた違反や違反となりうる行為について、安全に、機密を厳守した方法で報告を行うことができます。社員は、マネージャー、人事部長、企業の倫理・コンプライアンスオフィサー、グループの倫理・コンプライアンス部長に連絡することもできます。外部関係者は、何か懸念事項があれば LVMH の担当者に連絡できます。当グループは、こうしたチャネルを善意で利用して違反の報告を行った者に対し、たとえその後にその事実が不正確または根拠がないと判明し、訴訟手続きや制裁には至らなかったとしても、なんら懲戒処分を行わないことを保証します。

この制度には、以下のリンク <https://alertline.lvmh.com/> からアクセスできます。

2023 年 4 月、報告を受けて実施される内部調査のさまざまな段階を規定した、内部通報管理方針が労使協議会に提出され、承認されました。この手順はまた、事件が報告された際の匿名性と報復防止に関する規則を明確にすることも意図しています。

さらに、すべてのダイヤモンド サプライヤーからの請求書が WDC の SoW 要件を満たしていることを確実なものとするために、内部モニタリング部門による監査が毎

年実施されています。2023 年にこのアセスメントが実施され、監査範囲の期待がすべて満たされている結果となっています。

D. コンプライアンス

内部モニタリング部門、供給・責任ある購買部門により実施される業務に続き、倫理・コンプライアンス部門は、特に、国際制裁が確実に遵守されることに注意を払っています。この分野における近年の規制強化の一環として、現在、ショーメのブティックと本社では、ダイヤモンドのトレーサビリティと原産地、およびショーメが取引関係を維持するビジネスパートナーの分析が正確にモニタリングされることを確実なものとするための特別な管理が行われています。

E. 文化

10月5日から12月2日まで開催された『A Golden Age: 1965-1985』展は、メゾンにとって 2023 年のハイライトでした。パリのヴァンドーム広場 12 番地にある格式の高い、歴史あるショーメのサロンで開催された同展は、かつてないほどにジュエリーのクリエイティビティが花開いた 1965 年から 1985 年までのモダニティの時代へと来場者を誘いました。社会的・文化的激変に見舞われたこの時代、ショーメは芸術の限界に挑戦し、当時の自由と革新の精神を体現する壮麗なジュエリーの数々を生み出しました。同展では、ショーメのアーカイブからの 200 点以上の作品だけでなく、他のメゾンの作品や、当時のアイデンティティを反映したアートピースにもスポットライトが当てられました。

3.持続可能な開発目標（SDGs）

LVMH は、持続可能な開発目標（SDGs）を支援し、その達成のための措置を講じています。

2012 年、LVMH は明確な目標と期限を定めた環境ロードマップを作成しました。2020 年、2030 年のロードマップが「LIFE 360」の名前で公開されました。各メゾンはこのロードマップを実施し、目標達成に向けて必要なアクションを取らなければなりません。LVMH は、SBTi（Science Based Target Initiative）において、エネルギー消費による GHG（温室効果ガス）排出量を 2026 年までに絶対値で 50%削減（スコープ 1、2）、付加価値単位当たりの GHG 排出量を 2030 年までに 55%削減（スコープ 3）することを約束しています。それゆえ LVMH は、パリ協定の定める炭素関連のロードマップを確実にこなしており、2050 年のヨーロッパの掲げるカーボンニュートラル目標達成に貢献しています。こうした状況の中、私たちは主な天然資源を特定し、その使用の効率性を改善する戦略を採用しています。

以下が LIFE 360 の 4 つの柱になります。

- 多様性の保護

- 気候変動との闘い
- サーキュラーエコノミー（循環型経済）
- 透明性

LVMH グループの傘下にあるメゾンとして、ショーメは LIFE 360 プログラムの定める要件を満たす措置を講じ、フランス内外のエネルギー消費低減に関するグループのガイドラインを適用しています。

4.用語解説

CISA = Chaumet International S.A.（ショーメ・インターナショナル）

KYC = Know Your Counterparty（自分の取引相手を知ろう）

LVMH = Louis Vuitton Moët Hennessy（モエ・ヘネシー・ルイ・ヴィトン）

LIFE 360 = LVMH Initiatives For the Environment（LVMH の環境に対するイニシアチブ）

OECD = Organization for Economic Cooperation and Development（経済協力開発機構）

UN = United Nations（国際連合）

RJC = Responsible Jewelry Council（責任ある宝飾品業のための協議会）

署名日：2025 年 5 月 20 日

署名者：サンドラ・レステヴェン（CSR&サステナビリティ・ディレクター）